



第1回ビブリアバトル結果報告

7月9日(月)、今年度第1回目のビブリアバトルが開催されました。バトルは4人(うち初挑戦者1人)、観戦者は33人でした。

バトルと紹介本 (★チャンプ本 ☆準チャンプ本)

- 3F 佐藤 杏佳 さん
紹介本『あやかしお宿に嫁入りします。』(友麻碧 著)★
- 3C 阿部 誠矢 さん
紹介本『オーダーメイド殺人クラブ』(辻村深月 著)☆
- 2E 田中 柚摘 さん
紹介本『声も出せずに死んだんだ』(長谷川也 著)
- 2D 佐々木 朋萌 さん
紹介本『魍魎の匣』(京極夏彦 著)

★チャンプ本

『あやかし
お宿に嫁入り
します。』

友麻碧 著

KADOKAWA

☆準チャンプ本

『オーダー
メイド殺人
クラブ』

辻村深月 著

集英社

チャンプ本と準チャンプ本は同票で、再度この2冊を全員による投票で選びました。結果、1票差でチャンプ本が決定するという接戦でした。慣れた様子でプレゼンする経験者の中で、初挑戦のバトルが、明るく、にこやかに自分の好きな本を紹介していて好感が持てました。



参加者の感想から

- ・緊張しましたが、自分が思っていることを伝えることができたので良かったです。(バトル)
- ・先輩たちのバトルに圧倒された。本の説明も分かりやすかった。
- ・初めてビブリアバトルに参加して、先輩たちの本に対する熱量に感心しました。今度機会があれば、私もやってみたくと思いました。
- ・中学校でもビブリアバトルをやったのですが、高校のレベルが高くてビックリしました。次回もぜひ参加したいです。
- ・やったことがなかったので、難しそうに見えた。語彙力を磨きたいです。
- ・今回は自分と重なるところがある本があって、読みたくなりました。また、「死」が深く関係した本が多かったので、普段考えない事を考えるきっかけになりました。
- ・どのバトルの本の紹介も面白くて、その本が読みたくなりました。司会も楽しかったです。

- ・今回のビブリオバトルは「死」に関する本が多かったが、私自身そういう話が好きでもあるので、どの本にも興味を持った。
- ・今回紹介された本は、グロテスクな表現のある本が多かった。そんな本の中から一番良かった本を決めるのは複雑な気持ちだった。
- ・アヤカシが妖怪のようなものだと初めて知りました。次も楽しみです。
- ・今回が暗めの本が多いのか、毎回暗めなのが多いのかが気になった。現実味がない本が多く分かりづらかった。
- ・発表者それぞれが楽しそうに、また熱心に本を語る姿に感心しました。本に対する愛着も感じられ、本の楽しみ方のヒミツをかいま見たような気がして楽しめました。



新着図書紹介

倉田教頭先生
おすすめ！

『まんがでわかる 伝え方が9割』 佐々木圭一 著

【伝え方が9割】をわかりやすく、楽しくマンガで紹介！

「ノー」を「イエス」に変える7つの切り口、強いコトバをつくる5つの技術が楽しく完璧に学べます。

『未来』 湊かなえ 著

ある日、突然届いた一通の手紙。送り主は未来の自分だという…。『告白』から10年。湊ワールド集大成の長編ミステリー。

『僕はロボットごしの君に恋をする』 山田悠介 著

半世紀後の東京、人型ロボットを使った極秘プロジェクトが進む中で、操作官の健は想いを寄せる咲を守れるのか？ ラストに驚愕必至の感動大作！

『十二大戦 対 十二大戦』 西尾維新・中村光 著

十二年に一度行われる、十二支の名を冠した戦士達の戦い。

『過ぎ去りし王国の城』 宮部みゆき 著

ひょんなことから中世ヨーロッパの古城のデッサンを拾った尾垣真。やがて絵の中にアバター（分身）を描きこむことで、自分もその世界に入りこめることを突き止める、冒険小説。

『未来のミライ』 細田守 著

時をこえるボクと家族の未来の物語。細田守監督最新作の原作本。

『宵山万華鏡』 森見登美彦 著

祇園祭宵山を舞台とする摩訶不思議な連作短編集。

『夜市』 恒川光太郎 著

奇跡的な美しさに満ちた、日本ホラー小説大賞受賞作。

『記念写真』 赤川次郎 著

背筋が凍るミステリーから、心にしみる人間ドラマまで、さまざまな味わいをもつ10の物語。

『明日の子供たち』 有川浩 著

児童養護施設を舞台に繰り広げられるドラマティック長篇。

夏休みの読書



読書感想文コンクール課題図書

1, 2年生は、夏休みの課題として読書感想文を書くことになっています。感想文を書く時にどの本を読んだらいいか悩む人には、課題図書がおすすめです。図書館にありますので、紹介します。

『いのちは贈りもの ホロコーストを生きのびて』 フランソワ・クリスト 著

アンネ・フランクと同じ強制収容所に送られて、ホロコーストを生きのびたフランス人女性の手記。残酷な中にあっても気高い精神を持ち続けた少女。

『車いす犬ラッキー 捨てられた命と生きる』 小林照幸 著

美しい自然が息づく島で、一人の男がめぐりあった“人生を変えた犬”。犬と人のドラマを通じて、命の意味を問う感動の物語。

『わたしがいどんだ戦い 1939年』 キバリー・ブム・カー・ブラッドリー 著

1939年。二度目の世界大戦さなかのロンドンで、自分らしく生きるために戦う少女と、彼女をあたたく包む周囲の人たちを描く。

図書委員会活動より

大館市立図書館「図書館まつり」に参加しました！



移動図書館「おとり号」の乗車体験



貸出も行いました。



本のブックコートかけに挑戦！



マステによるしおり作りのサポート

ビブリオバトルには桂桜生人2人が出場。
1D酒本龍之介さんが初挑戦ながら見事
チャンプに輝きました。

夏休み中の図書館の開館

月 日	曜日	開館○閉館×	開館時間
7月24日	火	○	9:00～17:00
7月25日	水	○	9:00～17:00
7月26日	木	○	9:00～17:00
7月27日	金	○	9:00～17:00
7月28日	土	×	
7月29日	日	×	
7月30日	月	○	9:00～17:00
7月31日	火	○	9:00～17:00
8月1日	水	○	9:00～17:00
8月2日	木	○	9:00～17:00
8月3日	金	○	9:00～17:00
8月4日	土	×	
8月5日	日	×	
8月6日	月	○	9:00～17:00
8月7日	火	○	9:00～17:00
8月8日	水	○	9:00～17:00
8月9日	木	○	9:00～17:00
8月10日	金	○	9:00～17:00
8月11日	土	×	
8月12日	日	×	
8月13日	月	×	
8月14日	火	×	
8月15日	水	×	
8月16日	木	○	9:00～17:00
8月17日	金	○	9:00～17:00
8月18日	土	×	
8月19日	日	×	

夏休みの貸出は、一人5冊まで。
返却日は8月20日です！



